

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第64期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社フジコー

【英訳名】 FUJI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野 添 誉 之

【本店の所在の場所】 兵庫県伊丹市行基町1丁目5番地

【電話番号】 (072)-772-1101(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 総務・購買担当兼法務部長 西脇 敬

【最寄りの連絡場所】 兵庫県伊丹市行基町1丁目5番地

【電話番号】 (072)-772-1101(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 総務・購買担当兼法務部長 西脇 敬

【縦覧に供する場所】 株式会社フジコー 東京支店
(東京都台東区蔵前1丁目2番1号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第63期 第1四半期 連結累計期間		第64期 第1四半期 連結累計期間		第63期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		2,015,978		2,096,596		8,491,283
経常損失 () (千円)		34,402		50,841		27,107
当期純利益又は 四半期純損失 () (千円)		30,955		55,254		32,803
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		38,243		51,582		141,481
純資産額 (千円)		8,889,566		8,979,903		9,068,856
総資産額 (千円)		12,651,382		12,652,477		12,723,635
1株当たり当期純利益金額 又は四半期純損失金額 () (円)		6.64		11.86		7.04
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		70.3		71.0		71.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第63期第1四半期連結累計期間ならびに第64期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第63期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新政権下における経済政策及び金融政策による円安・株高への進行を背景に、景気回復への期待感から明るい兆しが見え始めました。しかしながら、欧州を中心とした景気の下振れ懸念や、中国経済の減速等依然として先行きの不透明感が拭えない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループとしましては、今後の如何なる環境変化にも対応して、持続的発展を遂げられるよう、全力を使って付加価値を創出し、社会に貢献するとの事業運営の基本方針を掲げ、全社一丸となって実践に当たってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は20億96百万円（前年同四半期比104.0%）、営業損失は86百万円（前年同四半期は営業損失44百万円）、経常損失は50百万円（前年同四半期は経常損失34百万円）となりました。

なお、四半期純損失につきましては、55百万円（前年同四半期は四半期純損失30百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

環境・エネルギー資材

環境資材については、公共事業の回復もあり好調に推移しました。また、エネルギー資材についても堅調に推移しました。その結果、環境・エネルギー資材事業では、売上高は3億75百万円（前年同四半期比124.2%）セグメント利益は57百万円（前年同四半期比152.4%）となりました。

工業資材

OA機器用、各種産業用資材ともに市況は回復傾向にあり、販売は堅調に推移しました。その結果、工業資材事業では、売上高は7億73百万円（前年同四半期比102.0%）セグメント利益は1億23百万円（前年同四半期比100.8%）となりました。

建装・自動車資材

各種カーペットについては、各種展示会等の受注を中心に堅調に推移しました。また、自動車資材についても、新規品の受注等により販売は堅調に推移しました。その結果、建装・自動車資材事業では、売上高は8億7百万円（前年同四半期比98.9%）セグメント利益は88百万円（前年同四半期比128.6%）となりました。

その他

その他事業については、電気資材、衣料資材、帽子帽材等とともに、販売ルートの強化及び新規市場の開拓に積極的に取組みました。その結果、その他事業では、売上高は1億40百万円（前年同四半期比101.1%）セグメント利益は24百万円（前年同四半期比164.5%）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産が126億52百万円と前連結会計年度末に比べて71百万円の減少となりました。これは主に、商品及び製品が1億58百万円増加し、現金及び預金が2億29百万円減少したことによるものであります。

負債の部は、36億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて17百万円増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が48百万円増加、長期借入金（1年内返済予定含む）が28百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、89億79百万円となり、前連結会計年度末に比べて88百万円減少となりました。これは主に、利益剰余金が92百万円減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は29百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,000,000	5,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 1,000株であります。
計	5,000,000	5,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		5,000,000		1,716,300		1,599,813

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 339,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式4,647,000	4,647	
単元未満株式	普通株式 14,000		
発行済株式総数	5,000,000		
総株主の議決権		4,647	

(注) 1. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式594株が含まれています。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己株式) 株式会社フジコー	兵庫県伊丹市行基町1-5	339,000		339,000	6.78
計		339,000		339,000	6.78

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,815,710	1,586,452
受取手形及び売掛金	2,806,287	2,825,003
有価証券	26,068	-
商品及び製品	1,040,330	1,198,999
仕掛品	278,682	267,621
原材料及び貯蔵品	385,861	468,707
繰延税金資産	113,567	61,089
その他	70,414	54,362
貸倒引当金	1,001	955
流動資産合計	6,535,922	6,461,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,918,048	2,917,299
減価償却累計額	1,497,617	1,509,722
建物及び構築物(純額)	1,420,430	1,407,577
機械装置及び運搬具	5,958,444	5,964,308
減価償却累計額	5,146,791	5,192,501
機械装置及び運搬具(純額)	811,652	771,806
土地	1,140,005	1,138,834
建設仮勘定	512,935	534,700
その他	318,298	320,050
減価償却累計額	252,814	259,849
その他(純額)	65,484	60,200
有形固定資産合計	3,950,509	3,913,119
無形固定資産		
のれん	105,756	99,147
ソフトウェア	130,566	133,466
その他	10,779	10,108
無形固定資産合計	247,102	242,722
投資その他の資産		
投資有価証券	1,033,991	1,020,877
繰延税金資産	208,396	272,193
その他	779,347	773,918
貸倒引当金	31,634	31,634
投資その他の資産合計	1,990,101	2,035,354
固定資産合計	6,187,713	6,191,196
資産合計	12,723,635	12,652,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,423,252	1,471,991
短期借入金	350,000	350,000
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	109,632	107,992
未払法人税等	33,732	14,479
未払費用	102,279	112,409
賞与引当金	121,748	84,009
その他	209,782	238,244
流動負債合計	2,650,427	2,679,127
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	230,716	203,718
退職給付引当金	593,155	603,450
その他	130,479	136,278
固定負債合計	1,004,351	993,447
負債合計	3,654,778	3,672,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,300	1,716,300
資本剰余金	1,599,813	1,599,813
利益剰余金	5,875,362	5,782,824
自己株式	221,889	221,977
株主資本合計	8,969,585	8,876,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,182	102,740
為替換算調整勘定	12,910	202
その他の包括利益累計額合計	99,271	102,943
純資産合計	9,068,856	8,979,903
負債純資産合計	12,723,635	12,652,477

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,015,978	2,096,596
売上原価	1,636,220	1,729,486
売上総利益	379,757	367,109
販売費及び一般管理費	423,841	453,924
営業損失()	44,083	86,814
営業外収益		
受取利息	2,098	2,891
受取配当金	3,097	3,336
不動産賃貸料	20,427	19,347
為替差益	-	14,262
その他	3,180	4,014
営業外収益合計	28,804	43,852
営業外費用		
支払利息	3,957	3,579
売上割引	1,644	1,871
不動産賃貸原価	1,853	1,850
為替差損	8,779	-
その他	2,888	578
営業外費用合計	19,122	7,879
経常損失()	34,402	50,841
特別利益		
固定資産売却益	-	1,136
特別利益合計	-	1,136
特別損失		
固定資産除却損	162	1,605
特別損失合計	162	1,605
税金等調整前四半期純損失()	34,564	51,311
法人税、住民税及び事業税	15,552	9,511
法人税等調整額	19,161	5,568
法人税等合計	3,609	3,943
少数株主損益調整前四半期純損失()	30,955	55,254
少数株主利益	-	-
四半期純損失()	30,955	55,254

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	30,955	55,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,964	9,441
為替換算調整勘定	7,676	13,113
その他の包括利益合計	7,288	3,672
四半期包括利益	38,243	51,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,243	51,582
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	158,912千円	137,222千円
支払手形	161,974千円	128,743千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	55,731千円	78,227千円
のれんの償却額	6,609千円	6,609千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	60,599	13	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	37,283	8	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境・エネルギー資材	工業資材	建装・自動車資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	302,216	758,544	816,709	1,877,470	138,507	2,015,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	302,216	758,544	816,709	1,877,470	138,507	2,015,978
セグメント利益	37,957	122,354	68,673	228,985	14,834	243,819

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気資材事業、衣料事業及び帽子帽材事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	228,985
「その他」の区分の利益	14,834
全社費用(注)	225,688
棚卸資産の調整額	60,016
その他の調整額	2,197
四半期連結損益計算書の営業損失()	44,083

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	環境・エネルギー資材	工業資材	建装・自動車資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	375,359	773,444	807,740	1,956,545	140,050	2,096,596
セグメント間の内部売上高又は振替高						
計	375,359	773,444	807,740	1,956,545	140,050	2,096,596
セグメント利益	57,835	123,290	88,301	269,427	24,400	293,827

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気資材事業、衣料事業及び帽子帽材事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	269,427
「その他」の区分の利益	24,400
全社費用(注)	271,135
棚卸資産の調整額	94,167
その他の調整額	15,338
四半期連結損益計算書の営業損失()	86,814

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	6円64銭	11円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	30,955	55,254
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	30,955	55,254
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,661	4,660

(注) 前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 8日

株式会社フジコー
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近 藤 康 仁 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 桂 木 茂 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジコーの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジコー及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。